

会 議 録 (要 旨)

会議の名称	第1回戸田市文化芸術推進審議会
開催日時	令和7年9月25日(木) 午後2時～午後4時15分
開催場所	戸田市役所 5階 大会議室A
出席者氏名 (委員)	<p>会長 友岡 邦之 (高崎経済大学教授)</p> <p>副会長 金子 篤徳 (戸田市文化協会副会長)</p> <p>委員 駒崎 雅彦 (戸田市文化会館館長)</p> <p>委員 宍戸 幸子 (戸田市美術展覧会実行委員会委員長)</p> <p>委員 益子 葵 (公募市民)</p> <p>委員 河合 尚市 (公募市民)</p> <p>委員 秋元 幸子 (市民生活部長)</p> <p>委員 川和田 亨 (教育委員会事務局部長)</p>
欠席者氏名 (委員)	なし
事務局	文化スポーツ課文化担当 株式会社社会構想研究所
議 題	<p>(1) 会長及び副会長の選任について</p> <p>(2) 文化芸術推進基本計画策定に係るスケジュール及び概要について</p> <p>(3) 文化芸術に関する市民意識調査等の結果報告について</p>
会議の経過	別紙のとおり
議事録確定	令和7年11月17日 会長 友岡 邦之

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	■開会
	■あいさつ・委員紹介
事務局	■議題（１）会長及び副会長の選任 ・友岡委員を会長、金子委員を副会長に選任。
事務局	■議題（２）文化芸術推進基本計画策定に係るスケジュール及び概要について 文化芸術推進基本計画策定に係るスケジュール及び概要について説明
会長	議題２について質疑等があればお願いしたい。 他市の事例紹介があったが、内容の議論は意識調査の結果を聞いたあとに行なった方が良いと思うことから、概要やスケジュール等に限定して意見を伺いたい。
委員	会議の日程が決まっていたら教えていただきたい。
事務局	今後の日程については、調整の上、決定させていただく形を考えている。
委員	スケジュールを事前に決めていただければ、そこを空けておくこともできるので検討いただきたい。
事務局	今のお話を受けて、事務局にて暫定的に日程を決めさせていただき、共有させていただく。
会長	スケジュールがかなりタイトである。１０月下旬に第２回の審議会を予定しており、そこで素案を出す予定となっている。 そのため本日が非常に重要となる。この２０年で戸田市がどうなっていきたいかということをも夢でも良いので考えていただき様々な意見を出していただきたい。
委員	ハコモノが非常に重要であると考えている。いろいろな人たちがそこで発表でき、市民のためにどれだけ役に立っているかということが重要であると考えている。会場費が高いと申し込みづらい。出来るだけ気軽に使えると良い。
会長	今いただいた意見は重要な論点である。 施設は誰のためのものなのかということである。 この後、事務局から説明がある意識調査の結果をみて改めて議論したい。
事務局	■議題３ 文化芸術に関する市民意識調査等の結果報告について 市民意識調査、団体調査、こども・わかもの意見ポストの結果について説

	明
会長	<p>議題3について質疑等があればお願いしたい。</p> <p>印象に残ったことや感想があれば伺いたい。</p> <p>今後5年間の計画で戸田市の方向性を出していく。先程も申し上げたが20年後の戸田市がどうなっていたら良いかということを考えて欲しい。</p>
委員	<p>市民として、色々なイベントに参加したいと思っており、市広報を見ているが子供がいるため、託児付きのワークショップに参加している。</p> <p>内容より、まずは託児があるかないかを見てしまうので、託児がないと応募を断念してしまう。</p> <p>アンケートの「興味はあるけど参加しにくい」等参加したい気持ちが半減してしまう意見は共感できる。</p>
会長	<p>子育て世代に対する対応は重要な論点である。</p> <p>今回の意識調査は、納得できるデータが多かったが、同時にきっかけを求めている人が多くいるというのが意外であった。</p> <p>逆に言うと、きっかけをどのようにして提供するか。今までのやり方を踏襲してはダメであり、違ったかたちで多くの市民の皆さんが文化芸術に触れ合えるようなきっかけをどう提供するか知恵を絞らなければならないポイントだと思う。</p>
委員	<p>団体の活動内容について、各公共施設に行けば活動していることがわかるが、一カ所に情報を集めることが必要ではないかと思う。</p> <p>一括管理するデータベースが必要と考える。</p> <p>行きたい団体名や、内容別に検索できるようにしてはどうか。</p> <p>個別にみれば良いものはたくさんあるが、それが知られていないというのは残念であるので、一カ所知っていれば色々な場所にアクセスできる環境を作ることが大事ではないかと思う。</p>
会長	<p>例えば、LINEアカウントと紐づけられると良いのではないか。集約されたサイトに新しい情報が告知されたらLINEにも通知が流れるようにする。</p> <p>サイトを作っているだけだと見に行かないので、プッシュ型で通知される仕組みだと便利だと思う。</p> <p>また、行政がすべての運用を担うのではなく、発信したい人が自分で登録できるようにする仕組みにした方が良い。</p>

	<p>広報については特に重要であり、意識調査でも発信力の弱さを指摘されている。何か情報を求めている人は市報が強い。文化芸術のスペース確保が大変であったりや締め切りが早いということもあるが上手く市報を使って発信して行ってほしい。</p>
副会長	<p>市のホームページは市の催しのみとなっているのが現状である。市民団体や民間団体の催し等は掲載が出来ない。まんべんなく掲載できると良い。また、ハード面の問題であるが、100名規模の練習場所は、戸田市にはあまりなく、ハード面で弱いと感じる。文化会館のホールがあるがお金がかかる。</p> <p>戸田音楽祭は15年ほど前からあるが、音楽祭は、最初は体験型の音楽祭だった。子供達を育成しようと始まった。小学校全校に金管バンドが編成され順調に活動していたがコロナ禍により難しくなってしまった。</p> <p>近年、スポーツは、指導員を民間から派遣するなど行っている例もあるが音楽はあまり見受けられない。このことから、子供達に対する音楽活動を活性化させるためには、指導に対して補助するような仕組みがあってもいいのかなと思う。</p>
会長	<p>部活動について話があったが、部活動の地域展開は文科系の部活動も始まっているのか。</p>
委員	<p>まさに検討しているところである。</p> <p>今、戸田市で行なっているのは休日の部活動の地域展開である。</p> <p>土日で文科系が活動しているのは主に吹奏楽部で、それ以外の部活動は基本的に活動していない。そのため、土日の吹奏楽部をどのように地域展開していくかを学校関係者だけではなく、地域の方々や保護者も委員とする検討委員会で検討している。</p> <p>基本的には土日に活動することが多いのが運動部活動になるため、そちらを中心とした議論となっているのが現状である。</p>
会長	<p>なかなか文化系は難しい面があるということだと思う。</p> <p>部活動の地域展開は結構重要な社会変革であると考えている。良い面も悪い面もある。</p> <p>部活動の地域展開が実現できれば、世代間の交流が促進されると考える。</p> <p>市民意識調査の結果を見ていると、参加は低調であるが、人々がきっかけを求めているととれる。そのことについては、計画で考えていく必要がある</p>

	<p>る。</p> <p>団体については、委員の皆様も肌で感じていると思うが高齢化が進んでいることがもう一つの論点であると考えます。これは全国的に見られる現象であるが、大きな問題であると考えます。戸田市がどういう風にこの課題を考えていくかは大きな論点であると思う。</p> <p>これには二つの取り組みが考えられると思う。一つは新しい血が入ってくることであり、新陳代謝を促進させることであり、若い人達が団体の魅力を感じられるようなきっかけ作りを考える必要がある。</p> <p>もう一つは、今回の調査の対象になっていない団体がある。そこは考える必要がある。例えばダンスサークルは文化協会には入っていない。行政も認知できない。そういったところにも目を向けて連絡がとれる位の状態にはもっていったほうがいいかなと思う。新しく出来た団体に対して連携できていない自治体が多い。そのため、連携してネットワークを形成していく必要がある。</p>
委員	子供のオーケストラはあるか。
副会長	過去にはあったが、コロナ禍等によりほとんどなくなってしまった。
委員	<p>高齢者との交流、刺激を若い人というよりか、もっと若い子どもに対して音楽や舞台芸術で刺激できないかと思う。子どもに発信してもらうことも考えてもいいかなと思う。</p> <p>子どもオーケストラに所属している子どもに、友達に今度こういったことがあるよとか周りに周知してもらってはどうか。</p> <p>本審議会ができて、ある意味ベースができたと思う。演奏会の情報を一カ所に集めるということもそうだが、音楽だけで言うと市民団体に部活動の一部地域展開を導入することができないか。大人のプレーヤーと子どものプレーヤーがオーケストラと一緒に演奏するとか、ブラスバンドの活動に地域の中학생や高校生が入ってきて活動するとか、既存団体が地域展開の目的を持った活動ができたらいいのかなと思う。</p> <p>そのような情報も出ているといいと思う。子どもたちが参加したいと言ったときに団体の活動日時がすぐわかり、また、演奏会を開いた時に、美術系の展示等、集まった時に自然に市展の優秀作品がみられるとか、そういったこともあってもいいのかなと思う。</p>
会長	他の目的できている人が、たまたまこんなことを戸田市でやっていると感じ

	<p>づくことができるのはすごく大きいことだと思う。きっかけを作る意味でそういった仕組みをつくるということがすごく重要になってくると思う。子どもをどう巻き込むかはとても重要だと思う。</p> <p>きっかけの話だが、文化や芸術ではないような機会をうまく使う必要があると思っている。</p> <p>市民意識調査の結果を見れば明らかだが、圧倒的に戸田ふるさと祭りの存在が大きい。そういった場で、文化芸術団体の発表の場などがあれば、それもまた刺激になると思う。</p>
副会長	<p>戸田ふるさと祭りでは、文化会館ホールなどで文化団体などもでていて、そういう意味でコラボレーションはできていると考える。</p> <p>青少年祭りでは楽器体験を行なっている。</p>
委員	<p>戸田音楽祭は文化会館ホールでやる公演が多かったが、最近は、小規模な公演として「“あなた”が創るコンサート」というものを行っている。個人でも参加ができ、これが結構反響があり、今年も15公演ほど申し込みがあり、参加しようという意識が高い。今後は楽器体験やアートの方も探りながら参加できる機会を作っていこうと考えている。</p>
委員	<p>アンケートの結果で、回答に地域差が出ている。芸術に興味のある方が鑑賞や参加しない理由が地域差にあるとすれば、その原因が何かということでクロス集計をすることで見えてくる答えもあると考える。</p> <p>興味がある人は自分で情報を探しに行くと思う。情報というところではもちろん一カ所に集まる方が良いが情報を目にする機会の頻度を上げていく必要がある。また、活動場所は一つの課題であると思う。</p> <p>上戸田地域交流センター（以下、「あいパル」という。）は施設がガラス張りになっており回遊型の構造であるため、来場者がその活動を見られるような作りになっている。他の目的で来た人が、別の目的の取り組みをきっかけとして見ることができる。</p> <p>他の公共施設はこういった作りではなく既存の公民館については、情報を発信していく等、工夫をすることで対応できると考える。市としてこういった対策を行っていくかということについて、計画の中で盛り込んでいければと考える。</p>
会長	<p>エリアによって回答の割合が異なるのは意味がありそうか。</p>
委員	<p>回答について東側の下戸田・上戸田地区が高く、西側の美女木・笹目地区</p>

	<p>が低い。活動場所がないというのが関係しているのかもしれないが原因は分からない。</p>
委員	<p>上戸田地域だとあいパル、新曽地域には新曽福祉センターがある。施設は古いが有効な機能がある。</p> <p>あいパルは図書館もあり、本を借りに来た人が他のものに触れるというチャンスがあると考える。</p> <p>新曽と上戸田には+αがあるの大きいのではないか。</p>
委員	<p>教育委員会としては、まずは土日の部活動の地域展開を進め、平日も含めた完全な地域展開は指導者等の課題もあり何年か先と考えている。子ども達が地域で音楽をしていくということは社会教育の観点からもとても素晴らしいと考える。部活動の地域展開というと、これまでの部活動のイメージそのままに地域で活動するというイメージがあるが、決してそうではなく、地域との交流や多世代交流という観点での活動もある。今までの部活動のイメージは短期集中、太く短いイメージがあるが、生涯学習という観点で長く続けていけるような地域展開もできたらいいと考える。</p> <p>一方で、働き方改革の流れの中で、国の方針の勤務時間の制限もあり、教員が正式に指導者となり、地域展開の活動に関わることは簡単ではない。如何にして持続可能なものにしながら、子ども達に様々な活動をしてもらうかということ考えていかなければならないと思う。音楽やスポーツを身近に感じるような部活動の地域展開の在り方も教育委員会として発信していかなければならないと考えている。</p>
委員	<p>小学生、中学生、高校生等、基本的に個人参加にすればいいと思っている。大事なのは毎週参加するというわけではなく、一回でも良いので、まずは体験してほしい。それがあればその先が見えてくる。もっと上手になりたいとか、続けてみたいとか、ゆくゆくもしかしたら指導者になるかもしれない。</p> <p>きっかけとして、門戸を開放したほうがよい。</p> <p>学校のクラブ活動として、オーケストラやブラスバンドに子どもが参加するとなると、教員に責任が発生する。そうではなく、個人参加にして、個人がそれぞれの団体にアクセスして、団体が何月何日に来てくれれば、一緒に演奏できますよ、などの入り口でいいと思う。</p>

	<p>きっかけということであれば、まず、団体の活動情報があつて、参加してみたいと思ったときにそれを受け入れてくれる団体があればきっかけ作りは成り立つと思う。</p>
会長	<p>次世代をどう育てていくか、次世代とどう交流していくは非常に重要な論点であつたと思う。</p> <p>最後に私から話をさせていただきたいのは文化財についてである。</p> <p>戸田市は、転出入により入れ替わりが多い特徴がある。</p> <p>事務局の説明の中で、戸田市にもともと縁がなかった人が戸田市に愛着をもってもらうきっかけとして、芸術が非常に良いきっかけになることもあるという話があつたが私も非常に良いアプローチだと思う。</p> <p>小学生の頃から戸田市に住んでいる人は、戸田市の歴史や文化財を学ぶ機会があると思う。引っ越してきた人は、戸田市の歴史を学ぶ機会がない。</p> <p>大人になって戸田市に来た方に対して、戸田市の歴史や文化財を学ぶ機会があつてもいいのかなと思う。</p>
事務局	<p>■ 4 その他・連絡事項</p> <p>次回第2回審議会については10月下旬の実施を予定している。</p> <p>今回いただいた意見を踏まえて、素案を提示する。</p>
委員	<p>スケジュールだが、第3回以降も提示いただけると助かる。</p>
事務局	<p>暫定的にはなるが提示させていただく。</p>
委員	<p>最後になるが、市民大学とリンクするのも重要かと思う。</p>
	<p>■ 5 閉会</p>